



令和7年10月8日

第8号

総社市立神在幼稚園

10月に入り、朝夕はすっかり涼しくなり過ごしやすくなってきました。子どもたちは心地よい秋晴れの中、砂場でイメージを膨らませて船を作ったり、トンボやバッタを追いかけたりと全身で秋の自然を感じながら遊んでいます。今号では、5年生との交流や地域へ園外保育に出掛けたことを中心にお知らせいたします。

キャッチフレーズ『えがおいっぱい やるきいっぱい ともだちだいすき 神在っ子』

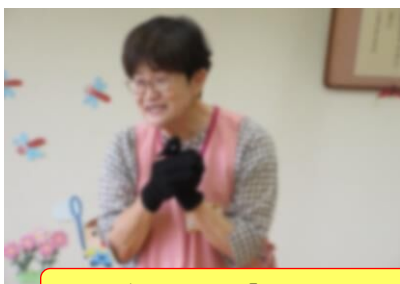
9/17 5年生との交流(業間休み)

小学校の業間休みに5年生と一緒に遊ぶと計画をしました。今年、初めての交流ということで、5年生が自分で作った名刺をくれました。今年の5年生もとても優しく、園児に関わってくれて、楽しい時間を過ごすことができました。次回は10月7・8・9日に交流する予定です。



9/26 お話を語る会

一学期にも来ていただいたお話を語る会の方が来てくださいました。一学期にしてもらった手袋シアター『からすの子』が子どもたちは大のお気に入りです。今回もそのお話をしてくださり、お話の世界を楽しんでいました。会の終了後に、子どもたちは手袋シアターを貸してもらい、お話を語る会の方のように「あー、眠れない眠れない眠れない」とまねながら手袋を動かしていました。



手袋シアター「からすの子」

ばくもやってみたい!



10/2 園外保育(水辺の楽校)

納涼祭があった水辺の楽校に虫取りと土手滑りに行ってきました。虫取りでは、捕まえた気持ちでバッタやチョウチョなど一生懸命に追い掛けていました。



バッタ捕まえた!

土手滑りでは、子どもたちが滑りやすいように水辺の楽校の管理をしている方が土手の3か所(短い・中・長い)の草を刈ってくださっていました。初めは少し怖がっていた子どもも徐々に慣れて帰る頃にはまだまだ滑り足りなくなり、「もっと滑りたい」「楽しかった」と土手滑りを大満喫しました。



一緒に滑ろう!